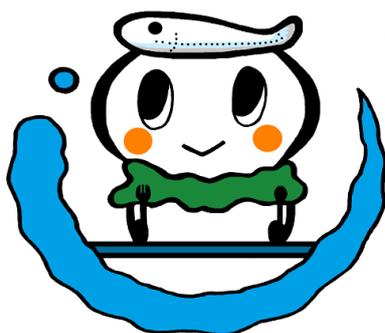


ずっとしあわせ 逗子市食育推進計画
平成 26 年度実施事業における年次評価結果報告書



平成 27 年 7 月
逗子市福祉部国保健康課

目次

はじめに	・・・・・・・・ 1
逗子市食育推進計画の概要	・・・・・・・・ 2
平成22年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】	
取組みの方向1 いきいきと健康に暮らす	・・・・・・・・ 3
取組みの方向2 安心して食べられる	・・・・・・・・ 5
取組みの方向3 地域で支えあう	・・・・・・・・ 6
取組みの方向4 食文化を守り伝える	・・・・・・・・ 7
平成26年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【総合評価】	・・・・・・・・ 8

はじめに

平成23年3月に策定した逗子市食育推進計画においては、5年後の最終的な目標値を達成するため、平成24年度から年次評価を行い、進行管理を進めるとともに各事業の内容の充実を図ります。今年度は、計画の最終年度にあたり、4回目の年次評価として、市の事業と庁外機関で実施した65の食育推進事業について評価を行いました。

年次評価では、まず平成26年度の食育に関する状況と、平成27年度の方向性を、各事業の担当者が逗子市食育推進事業自己評価シートに記載します。その後、逗子市食育推進懇話会（※）メンバーの方々に、自己評価シートに対するご意見を伺い、課題の抽出等を行います。

評価結果は、各事業のさらなる向上を図るため、各事業者へフィードバックするとともに、今後の普及啓発の方向性と内容を検討する資料として活用していきます。

この評価が、逗子市の食育の一層の充実と普及につながるよう、また、更なる食育の推進を図る次期食育推進計画の基礎となるよう、引き続きオール逗子の力で、食育を進めてまいります。

※ 逗子市の食育を推進するため、広く市民等の意見を聴取することを目的に、公募市民、学識経験者、市民団体、ボランティア、食に関係する事業者、関係機関等の代表者などにより構成されています。

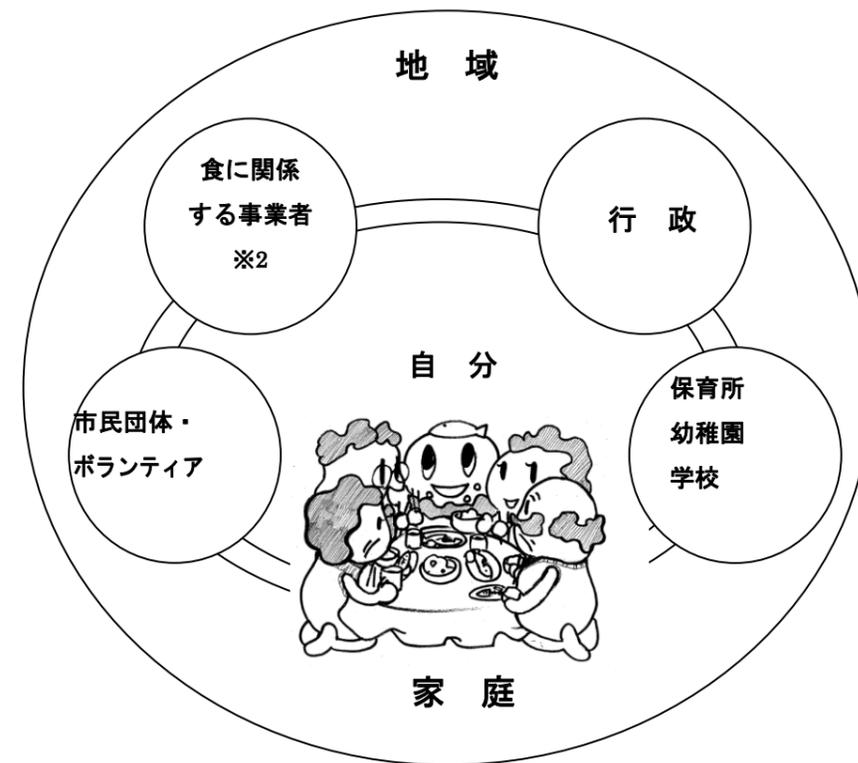
逗子市食育推進計画の概要



逗子市食育推進計画では、「しあわせつむぐ心豊かな食生活」の基本理念を実現するために、食育を推進していくための取組みの方向を次の4つに定めます。次の取組みの方向の中で実施する活動内容のうち、今回の年次評価では市の事業を中心に計51事業の評価を行いました。

取組みの方向	取組みの方向の目標	目標達成のアプローチ	活 動 内 容
1. いきいきと健康に暮らす	市民の健康を維持増進するために望ましい生活習慣づくりを進めます	①食について学び、生涯にわたって健康を保つ食習慣づくりができるように支援します	母親・両親教室、母乳・授乳相談、乳幼児健診、離乳食教室、2歳児すくすく教室、すこやか健診、食事相談・健診結果相談、男性の健康料理教室、健康教室、ヘルスアップ教室、特定保健指導、訪問指導、健康相談、栄養改善教室、親子の料理教室、キッズクッキング教室、保護者への試食会の実施、給食日より給食を通しての「食」に関する普及、授業を通しての栽培活動、「食育」の普及・実践に関する専門研修の開催
		②心豊かな食卓に向けた環境づくりを進めます	食堂サービス事業、ふれあいサロン、ひとり暮らし高齢者の栄養と健康を考える集い、お泊りキャンプ、お母さんと一緒にクッキング
2. 安心して食べられる	地域で安心して食することができる取組みを進めます	①地産地消の取組みを進めます	創作料理レシピコンテスト、幼稚園における農家の方との栽培活動
		②市民と食に関係する事業者との交流を支援します	芋掘り・いちご狩り等、勤労感謝の時の地域まわり、わかめの種つけ
		③誰もが食に対して安全かつ安心して生活することができるよう情報の提供に努めます	栄養表示等適性化推進事業、アレルギーベビー★キッズ&ママあつまれ、やむやむ等の機関誌やチラシにおける啓発
		④食の安全・安心を図るための地域ネットワークづくりを進めます	イベント等の地域連携
3. 地域で支えあう	食を通じたまちづくりを進めます	①食育に取り組む市民団体やボランティアの活動を支援し、食の輪づくりを進めます	食に関するボランティア、高齢者いきいきサポート事業
		②食育に関する専門的知識を有する者を養成します	食生活改善推進員養成講座、食生活改善指導者研修会、地域保健活動推進研修会(食育推進)、食育普及促進事業、地域育児支援ヘルパー養成講座
		③保健医療機関等における食育の普及と啓発活動を進めます	食事相談・健診結果相談、病態対応食配食事業、高齢者配食、訪問栄養指導
		④市内の食に関係する事業者の食育活動を支援します	特定給食等指導事業
4. 食文化を守り伝える	食文化を守り伝える取組みを進めます	①日々の暮らしの中で食文化を理解する取組みを進めます	小学校給食提供、男性のためのそば打ち体験教室、行事給食、資源開発委員会逗子さくら産品、親子の料理教室
		②豊かな環境を次世代につなぎます	自治会活動、みかん投げ
		③市民と食に関係する事業者との食を介したネットワークをつくります	わかめの種つけ、名越の田植

オール逗子の取組み ※1



※1 保育所、幼稚園、学校、市民団体・ボランティア、食に関係する事業者、行政が主体的に関わり、力を合わせて取り組むことです。

※2 食に関係する事業者とは、NPO法人、小坪漁業協同組合、よこすか葉山農業協同組合、逗子市商工会などをさします。

目 標 この計画の達成を目指し、3つの目標をたてています

目標	指標	目標値	現状値
①食事を楽しくおいしく食べる	毎日3食食べる人の割合	90%	81.9%
	食事を満足している人の割合	80%	71.1%
②食事づくりに参加する	食事づくり(買い物・調理・配膳・片付け等手伝いも含む)に参加している人の割合	95%	91.8%
③地域活動に参加する	地域の活動に参加している割合	70%	62.2%
	農林水産に関わる体験をしたことがある割合(教育ファームを含む)	90%	84.3%

*計画期間は、2011年度(平成23年度)から2015年度(平成27年度)までの5年間。
*現状値は、2010年(平成22年)5月実施の「逗子市食育に関するアンケート」による。

平成26年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向1 いきいきと健康に暮らす

1/2

評価欄には、A、B、Cのいずれかを選択してください。

- A・・・平成26年度の事業は食育の推進に大いに寄与されており、今後も推進が期待される。
- B・・・平成26年度の事業は食育の推進に寄与されているが改善の余地があると思われるため、今後さらなる工夫を取り入れた推進が期待される。
- C・・・平成26年度の事業は食育の視点を取り入れることができなかつたと判断されるため、今後は食育の視点を取り入れた事業展開が期待される。

＜目標達成へのアプローチ①＞

食について学び、生涯にわたり健康を保つ食習慣づくりができるように支援します。

- ・バランスのとれた食事をとり、生活習慣病の予防を図ります。
- ・年齢に応じた食生活の知識を身につけられるようにします。

No.	名称	評価
1	母親・両親教室	A
2	母乳・授乳相談	A
3	乳幼児健診(4か月児健診)	A
4	離乳食教室	A
5	乳幼児健診(お誕生日前健診)	A
6	乳幼児健診(1歳6か月児健診)	A
7	2歳児すくすく教室	A
8	乳幼児健診(3歳児健診)	A
9	すこやか健診	B
10	ミニ講演会	B
11	健康・栄養相談	A
12	男性の健康料理教室	A
13	健康教室「STOPロコモ！健康教室」「レディのための才食健美講座」	A
14	特定保健指導	A
15	訪問指導	B
16	健康相談	B
17	食事何でも相談	B

平成26年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

2/2

取組みの方向1 いきいきと健康に暮らす

《目標達成へのアプローチ①》 続き 食について学び、生涯にわたり健康を保つ食習慣づくりができるように支援します。 ・バランスのとれた食事をとり、生活習慣病の予防を図ります。 ・年齢に応じた食生活の知識を身につけられるようにします。		
No.	名称	評価
21.1～21.5	逗子市立小中学校における「食育」の年間指導計画の立案や授業実践での取組み(小学校) * 取組み5校	B,A,A,A,A
22.1～22.3	逗子市立小中学校における「食育」の年間指導計画の立案や授業実践での取組み(中学校) * 取組み3校	B,A,A
23.1	「食育月間」における食育の推進依頼(小学校) * 取組み1校	B
24.1	「食育月間」における食育の推進依頼(中学校) * 取組み1校	B
25.1	「食に関する指導」実施状況調査の依頼と結果の活用(小学校) * 取組み1校	B
26.1	「食に関する指導」実施状況調査の依頼と結果の活用(中学校) * 取組み1校	A
27.1～27.5	自然体験学習(小学校) * 取組み5校	A,A,A,A,A
28.1～28.3	自然体験学習(中学校) * 取組み3校	B,A,A
29.1～29.2	親子ふれあい食育教室の協力校の依頼(小学校) * 取組み2校	A,A
30.1	親子ふれあい食育教室の協力校の依頼(中学校) * 取組み1校	A
31.1～31.5	小学校給食提供【再掲】取組み4-①(小学校) * 取組み5校	A,A,A,A,A
32	中学校給食	A
33.1～33.5	給食試食会(小学校) * 取組み5校	A,A,A,A,A
34	中学校給食試食会	A
《目標達成へのアプローチ②》 心豊かな食生活に向けた環境づくりを進めます。 ・食卓交流の場づくりを進めます。 ・幸せを感じる食卓づくりを進めます。		
No.	名称	評価
35	夏休み親子料理教室	A
36	男性のための料理教室	B

平成26年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向2 安心して食べられる

評価欄には、A、B、Cのいずれかを選択してください。

A・・・平成26年度の事業は食育の推進に大いに寄与されており、今後も推進が期待される。

B・・・平成26年度の事業は食育の推進に寄与されているが改善の余地があると思われるため、今後さらなる工夫を取り入れた推進が期待される。

C・・・平成26年度の事業は食育の視点を取り入れることができなかつたと判断されるため、今後は食育の視点を取り入れた事業展開が期待される。

《目標達成へのアプローチ①》 地産地消の取組みを進めます。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ②》 市民と食に関係する事業者との交流を支援します。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ③》 誰もが食に対して安全かつ安心して生活することができるよう情報の提供に努めます。		
No.	名称	評価
37	食育関連図書の提供	A
38	平成26年度かながわ食の安全・安心基礎講座「老舗の胡麻油工場で学ぶ安全・安心の商品づくり」	B
《目標達成へのアプローチ④》 食の安全・安心を図るための地域ネットワークづくりを進めます。		
No.	名称	評価
39	災害時におけるアレルギー用物資等の供給に関する協定	B

平成26年度返子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向3 地域で支えあう

評価欄には、A、B、Cのいずれかを選択してください。

A・・・平成26年度の事業は食育の推進に大いに寄与されており、今後も推進が期待される。

B・・・平成26年度の事業は食育の推進に寄与されているが改善の余地があると思われるため、今後さらなる工夫を取り入れた推進が期待される。

C・・・平成26年度の事業は食育の視点を取り入れることができなかつたと判断されるため、今後は食育の視点を取り入れた事業展開が期待される。

《目標達成へのアプローチ①》 食育に取り組む市民団体やボランティアの活動を支援し、食の輪づくりを進めます。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ②》 食育に関する専門的知識を有する者を養成します。		
No.	名称	評価
40	食生活改善推進員養成講座	A
《目標達成へのアプローチ③》 保健医療機関等における食育の普及と啓発活動を進めます。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ④》 市内の食に係る事業者の食育活動を支援します。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—

平成26年度逗子市食育推進事業第三者評価シート【個別事業評価】

取組みの方向4 食文化を守り伝える

評価欄には、A、B、Cのいずれかを選択してください。

A・・・平成26年度の事業は食育の推進に大いに寄与されており、今後も推進が期待される。

B・・・平成26年度の事業は食育の推進に寄与されているが改善の余地があると思われるため、今後さらなる工夫を取り入れた推進が期待される。

C・・・平成26年度の事業は食育の視点を取り入れることができなかつたと判断されるため、今後は食育の視点を取り入れた事業展開が期待される。

《目標達成へのアプローチ①》 日々の暮らしの中で食文化を理解する取組みを進めます。		
No.	名称	評価
41	国際文化フォーラムin逗子	B
42	地元食材で料理教室 小坪の漁師さん直伝	A
43.1～43.5	小学校給食提供【再掲】取組み1-①(小学校)*取組み5校	A,A,A,A,A
《目標達成へのアプローチ②》 豊かな環境を次世代につなぎます。		
No.	名称	評価
—	該当事業なし	—
《目標達成へのアプローチ③》 市民と食に関係する事業者との食を介したネットワークをつくります。		
No.	名称	評価
44	平成26年度逗子市食育講座「地域に学ぶ料理教室 和菓子をつくろう！」	A
45	逗子の地場産物やその加工品等の販売	B

平成 26 年度逗子市推進事業第三者評価シート【総合評価】

全体を通しての意見

- ・成人男性対象の事業がほしい。
- ・一生の流れに食育を組み込んで講座とするようにならないだろうか。
- ・昨年度拡大継続と回答した場合は、拡大した内容が記載されているとよい。
- ・取り組みの名称と記載内容が一致した方がよい。
- ・取り組みの工夫や効果等の記載があると食育の視点や目標を達成したのか評価しやすい。子どもの反応を記載してほしい。
- ・小学校や国保健康課に栄養士がいる（食事の相談ができる）体制があるので、もっと活用（周知）されるとよい。「食事について相談できる体制があった」に○がつかないのがもったいない。
- ・食育として、特別な時間を設けるのではなく、日々の生活（営み）の中で学んでいけることが大事だと思う。
- ・具体的な内容（何を作ったか、参加人数等）があると評価がしやすい。
- ・参加者の感想など、現場からの意見があるとよい。
- ・「やや達成できた」に○がついていることが多い。（シート記入者が）控えめに評価してしまうのではないか。
- ・事業の主旨や活動が市民に理解されてきていると思う。
- ・より広報に対する工夫や拡大を行い、市民に周知していく必要がある。
- ・市の独自性が出る工夫があるとよい。
- ・事業は単発の開催でないほうがよい。
- ・地元食材の伝承は継続して進めてほしい。

特に意見がある事業について

- ・NO. 9 対象年齢は小5の家庭科が始まってからが望ましい。
- ・NO. 10 保健師だけでなく管理栄養士を加え、生育に関する対応と食育に対する対応ができるようにする。
- ・NO. 15, 16, 17 健診中に食育を言われても・・・という気がする。No. 17 で希望した人に、No. 15 やNo. 16 を使って訪問を受け付けるようにするとよい。No. 16 の「いつでも」ではメリハリに欠けるため、月・火曜日は未成年、水・木曜日は中高年、金曜日は高齢者というように分け、専門性をアピールする。
- ・NO. 21. 3～21. 5 記載内容が具体的でよい。
- ・No. 28. 1 記述内容がもっと具体的であれば良いと思う。他の学校に比べて伝わり方が弱い。
- ・料理教室については1回の参加人員が少ないため、広く進めていくには限界がある。年数回の開催やシリーズ化等拡大の可能性を探り、進めてほしい。
- ・アレルギーについては関心が高いと思うので、取り組みを高めてほしい。